

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	文化振興課
課名	まちづくり推進課

予算	款	項	目	決算書	
	2	1	16	82	頁

目名
神楽会館管理運営費

事務事業名称
神楽会館管理運営事業

1. 概要

目的	本市は「伝統芸能の宝庫」と呼ばれ多くの芸能が地域で永々と受け継がれている。その伝統芸能に対する造詣を深め、守り、次世代に継承し、また公演を通じて地域間交流を推進する。さらに、公演を通じて地域の保存継承活動を側面的に支援する。 また、誰でも生涯学ぶことができる環境の中で、発表の機会や積極的な生涯学習活動等を推進する。	対象	市民等
事業概要	○神楽会館管理運営事業 ・平成21年6月閉館。多目的ホール(288席)等の管理運営 ・公演は、業務委託したNPO郷土芸能を守る会を中心として、官民協働の実行委員会方式により開催 ・多目的ホールは貸館事業にも対応 ・一般公演、特別公演の開催		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	神楽会館管理運営事業	公演回数13回 入場者数2655人	委託料	14,092	12,645			3,695	8,950	3
計				14,092	12,645	0	0	3,695	8,950	

2. 指標設定

成果指標	指標名	郷土芸能の継承・発展コミュニティの場の確保		目標年度	H27	指標の設定理由		
	数値	-				本市が全国に誇れる歴史的価値が高い郷土芸能の継承・発展の支援、地域に元気・活力の向上を図るため、生涯教育、コミュニティの場の確保を目的として、建設されている		
活動指標	指標	a	伝統芸能公演回数	b	自主事業入場者	c		d
	数値	目標	12回	目標	2800人	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
郷土芸能の継承・発展コミュニティの場の確保		-	-	-

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 伝統芸能公演回数		9 回	12 回	13 回
		75 %	100 %	108 %
b 自主事業入場者		1,732 人	2,074 人	2,655 人
		71.5 %	85.7 %	96.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
1公演あたりの入場者数の確保
対応（改善点等）
神楽会館友の会の会員の継続と、勧誘による増大、市報・CATV・音声告知放送を利用した公演の周知。市外の道の駅・宿泊施設・旅行者等へのポスター掲示等のお願い。出演団体への協力依頼。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

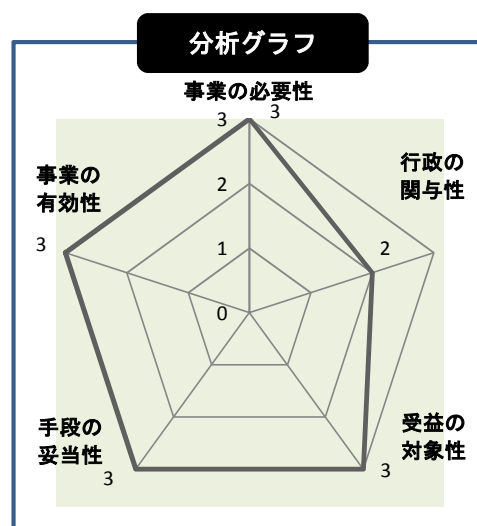
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		18,412	13,896	12,645	16,324
うち経常経費		11,888	13,896	12,136	16,324
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	2,624	3,467	3,695	2,609
	一般財源	15,788	10,429	8,950	13,715
うち経常		9,264	10,429	8,441	13,715
事業費に係る人件費		5,120	5,256	4,300	4,294

6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
現在の事業推進のために必要であるが経費を見直し削減を図る

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 会館の建設理念である郷土芸能の保存・継承の支援、地域のコミュニティの場の確保のため必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間サービスは可能であるが当面は行政の関与が必要である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待した通りの成果が出ている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	市民参加の事業運営を継続するとともに、引き続き、経営努力を図ること。公共施設の見直し方針に基づき関係機関との協議を進めること。（清川支所機能を神楽会館へ移転。）